

国土交通省インフラ長寿命化計画(行動計画)概要

本文詳細は以下のURLに掲載しております。
http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/sosei_point_mn_000011.html

国土交通省インフラ長寿命化計画(行動計画)概要

- 「社会資本メンテナンス元年」の取組を踏まえ、インフラ長寿命化基本計画に基づく行動計画をとりまとめ
- 行動計画を踏まえ、「メンテナンスサイクルの構築」、「トータルコストの縮減・平準化」、「地方公共団体等への支援」に重点的に取り組む
(主に、取組の方向性の1. 3関連) (主に、取組の方向性の5. 6関連) (主に、取組の方向性の1. 2. 7関連)

国土交通省インフラ長寿命化計画(行動計画)の概要 (平成26年5月21日社会資本の老朽化対策会議決定)

1. 国交省の役割

- 各インフラに係る体制や制度等を構築する「所管者」としての役割
- インフラの「管理者」としての役割

2. 計画の範囲

- 対象: 国交省が制度等を所管する全ての施設
- 期間: 平成26~32年度(2014~2020年度)

3. 中長期的なコストの見通し

- 維持管理・更新等の取組のため、施設の実態の把握や個別施設計画の策定により、中長期的な維持管理・更新等のコストの見通しをより確実に推定する必要

4. 取組の方向性と主な取組内容

【取組の方向性】

1 点検・診断／修繕・更新等

- ・ 全施設のメンテナンスサイクルの構築
- ・ 施設の必要性、対策内容等の再検討
- ・ 交付金等による支援の継続・充実

2 基準類の整備

- ・ 基準類の体系的整備
- ・ 新たな技術や知見の基準類への反映

3 情報基盤の整備と活用

- ・ 点検・修繕等を通じた情報収集
- ・ 情報の蓄積、地公体も含めた一元的集約

4 個別施設計画の策定

- ・ 計画策定の推進と内容の充実

5 新技術の開発・導入

- ・ 産学官の連携とニーズ・シーズのマッチング
- ・ 新技術を活用できる現場条件などの明確化

6 予算の管理

- ・ トータルコストの縮減・平準化
- ・ 受益と負担の見直し

7 体制の構築

- ・ 資格制度の充実、高度な技術力を有する技術者の活用
- ・ 管理者間の相互連携体制の構築

8 法令等の整備

- ・ 責任の明確化、社会構造の変化への対応

【主な取組内容】

○新たな基準・マニュアルの運用開始

例: 道路橋等の5年に1回の近接目視 等

○新たなデータベースの稼働と将来的な機能の拡充

例: 港湾のデータベースの港湾管理者への拡大 等

○必要に応じた施設の集約化・撤去等

例: 社会構造の変化に伴う橋梁等の集約化・撤去への助言 等

○資格制度の充実

例: 必要な能力と技術の明確化、関連する民間資格の評価・認定 等

○高度な技術力を有する技術者の活用体制の構築

例: 道路分野等において、国の職員等の派遣等の技術的支援体制の確立 等

○管理者間の相互連携体制の構築

例: 国・地公体で構成される支援組織による市町村への技術的支援 等

5. その他

- 計画のフォローアップにより、取組を充実・深化

- ホームページ等を通じた積極的な情報提供